



かっせんはら100



ほんち

＜宮城病院基本理念＞ 良い医療を安全に、心を込めて

第7回医療と看護・介護多職種連携研修会 知って得するリハビリテーション活用術 脳卒中編

Part II



地域医療連携係長 高橋美鈴

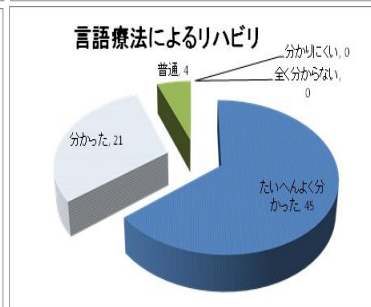
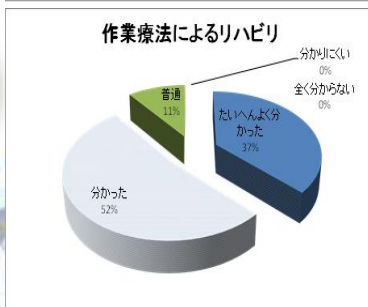
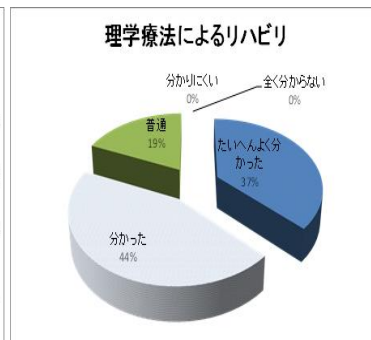
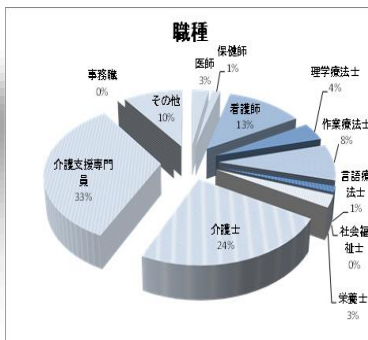
今回は脳卒中リハビリについて焦点を当てた上記研修会を開催いたしました。当日は院内外より107名のご参加を頂き、ありがとうございました。

廣瀬理学療法士より、基本的な姿勢のとり方や動作について、日常生活の中で繰り返す、立ち上がり、車いす等への移乗の動作、下肢の保持や直し方、安定した座位を維持するためのちょっとした工夫、食事時の姿勢などを、動画を交えて講義いただきました。

次に庄司作業療法士長から、作業療法と理学療法の違いをスタートに、麻痺が生じた腕・手の管理について、寝返りや車いす移乗時の腕の置き方、脱臼、けがなどの危険回避の方法、脱臼時の対策について写真、動画で説明頂きました。また、拘縮した手と指、爪の手入れについて、更衣、トイレ利用時などの身の回りの動作についても詳しく説明され、毎日のケアに直ぐに活用できる内容でした。

最後に佐々木主任言語聴覚士より、失語症について、失語症になるってどんな気持ち、その場の空気、body languageで伝わる思い、そして接する際の基本的態度は「大人として…」が重要とお話いただきました。話しかける時や、話を聞く時のポイント、NG事例など、寸劇も交えた動画では笑いも湧き上がるほど、引き込まれる研修となりました。

ご参加頂いた皆様からのアンケートには、「映像があり分かりやすかった」「直ぐに実践できると感じた」「失語症について学ぶ機会が少ないのでありがたい」「病気ではなくその人と良く向き合うことがやはり重要と改めて考えさせられた」など沢山のご感想を頂きました。そのほか、アンケートでは今後の研修会のテーマなどご要望も多く寄せられました。今後の企画に参考にさせていただきます。ありがとうございました。



次回は

2月19日開催予定です。皆様のご参加をお待ちしております。



MRガイド下集束超音波治療器導入決定！

宮城病院に新たな治療機器—MRガイド下集束超音波治療器—が導入されることになりました。今夏より稼働開始予定です。



MRガイド下集束超音波治療と言っても医療関係者でさえあまり馴染みのない言葉だと思えますが、簡単に言うと本態性振戦(手足が震える病気)に対する超音波を利用した新たな治療方法であり、更に近々パーキンソン病にも治療適応が拡大される見込みです。

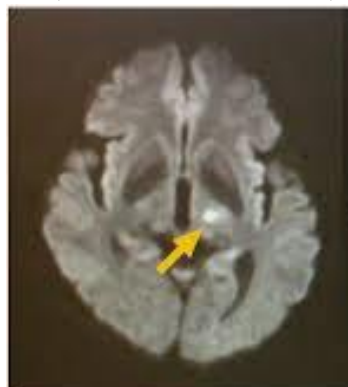
もともと本態性振戦は薬物治療が一般的ですが、重症になると食事の際に箸の使用も困難となり日常生活動作がかなり制限を受けます。そのような患者さんに対し脳深部刺激術という外科治療が有効ですが、実際に手術を受ける方は多くはいません。脳の中に電極を埋め込むという方法ですので、不安感や恐怖感から手術を受けることを躊躇して「ふるえ」を我慢してしまうことが多いのは当然だと思います。一方、今回導入するMRガイド下集束超音波治療の最大の特色は「切らない手術」であるという点になります。脳の深部に操作を加えるということでは脳深部刺激術と同じ原理なのですが、イメージとしては図1のように超音波を頭蓋骨の外から当てて「ふるえ」の原因となっている部位の働きを抑えることになります。図2は治療後のMRIで超音波が集まった部位が白く変化しています。

当院はパーキンソン病の外科治療として脳深部刺激術を積極的に行っていますが、本態性振戦に対しても同様な手術経験を有しています。今後行うMRガイド下集束超音波治療にもこれまでの経験が役立つと思われます。日本全国でも数十台、**東北地方では初の導入**となりますので、治療自体は余り知られていません。もし「ふるえ」の症状に困っている方が周りにいた場合、こういう治療があるんだよと伝えていただければ幸いです。また、実際に治療適応となるかは外来での診察が必要となりますので、その際は地域医療連携室にご連絡ください。

特命副院長・地域医療連携室長 安藤肇史



(図1)



(図2)

宮城病院『MRガイド下集束超音波治療(FUS)』 予約について

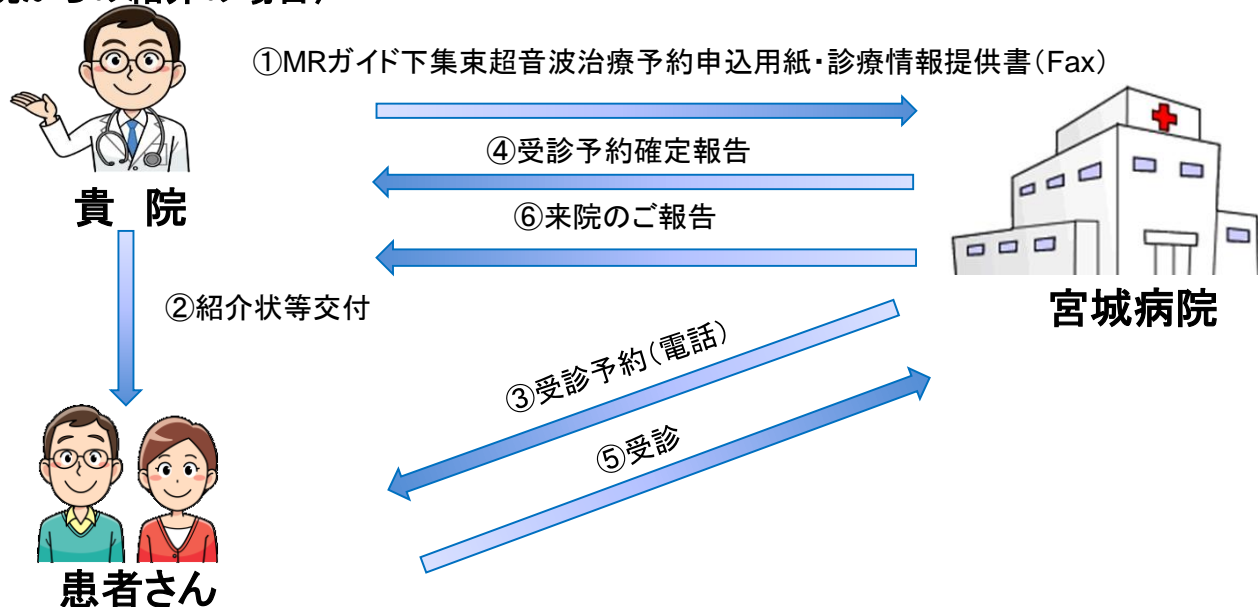
★予約受付時間 平日 8:30~17:00

宮城病院 地域医療連携室

時間外、土日、祝日、年末年始は、翌診療日に対応いたします。

★診察予約の流れ

〈他院からの紹介の場合〉

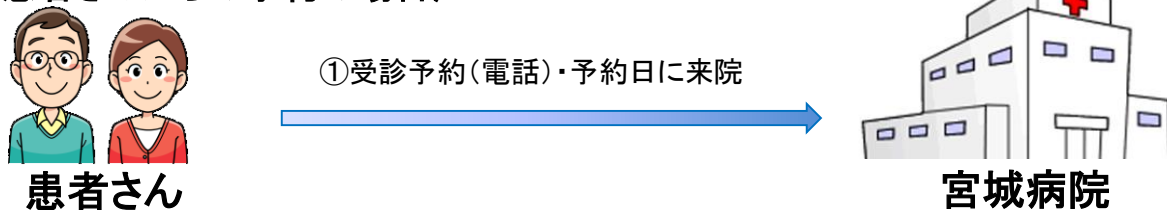


- ①宮城病院MRガイド下集束超音波治療予約申込用紙と紹介状(診療情報提供書)をFaxしてください。
- ②患者さんに紹介状、各種検査結果を渡してください。当院受診時には下記ご持参いただくものをご説明ください。

《ご説明後患者さんに帰宅していただいてもかまいません》

- ③当院地域医療連携室から患者さんに直接連絡し受診予約日時を確定します。
- ④貴院へ受診予約確定報告をいたします。
- ⑤患者さんは受診予約日に当院へ来院してください。受診報告は後日郵送させていただきます。

〈直接患者さんからの予約の場合〉



- ①宮城病院地域医療連携室へご連絡ください。予約日を確定します。
- ②受診予約日に当院へ来院してください。

◎受診当日にご持参いただくもの◎

- ①紹介状(ご準備いただける場合)・各種検査結果
- ②保険証
- ③各種受給者証
- ④お薬手帳

★急患について、主治医の先生から直接、
脳神経外科医師へご連絡ください。

★不明な点は、地域医療連携室へお気軽にご相談
ください。

宮城病院地域医療連携室 TEL 0223-37-1131(代表) FAX 0223-37-5055(連携室直通)

職場紹介

宮城病院 放射線科



診療放射線技師5名(今年から助手1名入りました)で、一般X線撮影、ポータブル撮影、CT、MRI、アイソトープ検査、X線TV撮影の業務を主に行っており、24時間体制で救急診療にも対応しています。

CT装置は、16列マルチスライスで、ワークステーションを駆使し診断に役立つ3Dの画像をフィルムレスで提供しております。アイソトープ検査は、脳血流スペクト、ダットスキャンでアルツハイマー型認知症、パーキンソン症候群、レビー小体型認知症の診断精度向上に寄与しております。また、放射線科の3本柱であるMRI、CT、アイソトープ検査は近隣のクリニック様にも共同利用することができます。

4月からMRI装置が更新されました。GE社製SIGNA Artist 1.5Tという機種になります。

先生方ご自身の診療施設内の機器と同様に扱っていただけます(。^_^。)

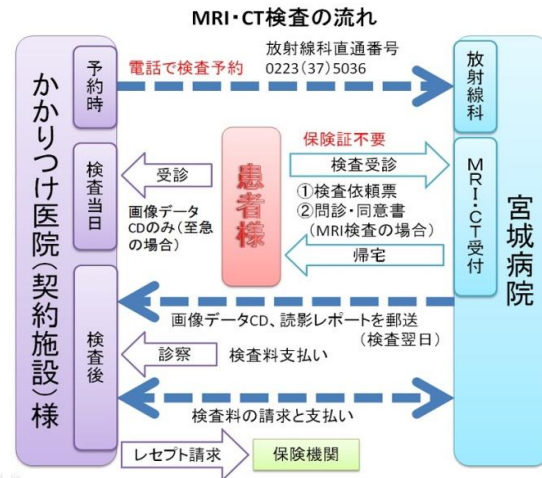
共同利用でつながる



宮城病院MRI/CT/アイソトープ装置共同利用について

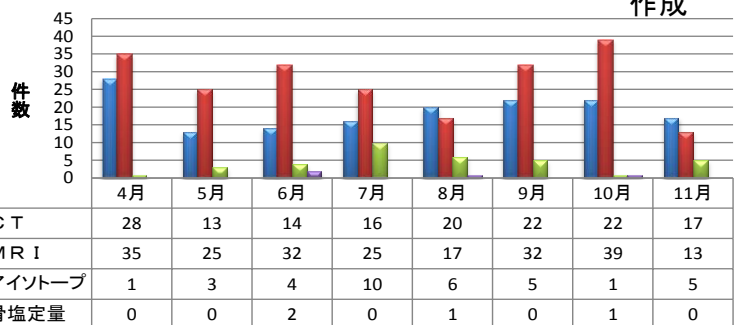
当院が保有している医療機器(MRI・CT・アイソトープ)を各医療機関の先生型にご利用いただくシステムです。適応患者様がいらっしゃる場合には、是非ご利用ください。

- 本システムにおきましては、当院外来受診は必要ありません。
- 患者様に直接、放射線科においていただき、検査を行います。
- 検査終了後、翌日に読影レポート(ドクターネット遠隔連携)と画像CDデータをご依頼の先生の下へ郵送致します。お急ぎの場合は検査後当日に画像CDのみ患者様にお渡することも可能です。
- 当院での会計は発生せず、当院の報告書をもとに各医療機関様において、会計、レセプト請求していただけます。
- 当院からは、各医療機関様との契約を基にした利用料を請求させていただきます。
- 検査依頼は当院放射線科直通電話で行えます。
- 検査日、検査時間は平日8時30分～16時30分です。
- MRI・CTどちらも単純検査のみで、造影剤の使用はできません。
- 必ず医院、クリニック様を通し医師の依頼の下ご予約ください。



CT/MRI/アイソトープ装置共同利用件数

2019.12.10 作成



共同利用システムは事前契約が必要です。

詳細等、電話にてお問い合わせください。

平日:8時30分～17時15分

TEL:0223-37-5036(予約直通電話)

担当:放射線科 松本(まつもと)

施設訪問へ行ってきました



11月26日(火)と12月2日(火)に相談員2名で柴田・丸森方面、南相馬市・新地方面の、障がい者支援施設や老人保健施設6か所を訪問させていただきました。

待機状況は100名を超えており、申し込みをしても入所までにはお時間がかかることなど、直接、施設の現状をお聞きする機会となりました。また、今回初めて伺わせていただく施設がほとんどでしたが、直接お顔を合わせ、お話をさせていただいたことで、



今後の調整もスムーズにすすめていけることを実感いたしました。

当日はお忙しい中ご対応いただきました職員の皆様にご感謝申し上げます。

今後ともよろしくお願い致します。



開設しました！

訪問看護ステーションかけはし

12月1日より宮城病院訪問看護ステーション「かけはし」を開設いたしました。訪問看護スタッフは、管理者1名、副看護師長1名、看護師3名の5名です。訪問看護ステーションとしては、まだまだ「ひよこ」です。近隣のステーションや居宅事業所の方々の力を借り、しっかりとした「鶏」を目指してまいります。利用者さん、ご家族さんが安心して在宅生活を送れるよう、しっかりとサポートしていきたいと思っております。

「家族介護が不安」「自宅でも処置が必要…」等些細なことでも、ご相談いただければと思います。利用者さんに、安全で安心な看護を提供できるように心がけてまいります。

どうぞ、よろしく申し上げます。

国立病院機構 宮城病院
訪問看護ステーションかけはし
連絡先:080-1682-8891
管理者:星 康子



研修会のご案内



国立病院機構 宮城病院
医療と看護・介護多職種連携研修会
第8回

「地域で暮らす人の生活を支える」
～認知症患者事例を振り返り、学ぶこと～

令和2年2月19日(水) 18:30～19:30
宮城病院 大会議室



<公開講座>

「自分らしく生きるために」
日時: 令和2年2月15日(土) 14:00～
場所: 亘理町役場保健センター(新庁舎)



育児休暇から復帰しました！

12月より育児休暇を終え、約1年4ヶ月ぶりに地域医療連携室へ復帰いたしましたSW木村です。昨年9月に出産を終え、日々成長していく子どもの姿を見守ることができました。

子ども中心の生活から、仕事を両立する生活となり慌ただしい毎日ですが、久しぶりのソーシャルワークに楽しさと不安が入り混じった気持ちであります。

今後も、子育てをしながらの勤務となりますが、皆様にご不便をおかけしないよう、これまで以上に連携を取り、支援させていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

医療社会事業専門員 木村 麻美

編集後記

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

かつせんはら第5号はいかがでしたか？2019年は平成から令和へ元号が変わり、天皇陛下がご即位され、また、宮城県内では台風19号の被害に見舞われるなどの出来事がありました。台風19号の被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

2020年が皆様にとって良き年でありますようお祈り申し上げます。

次回のかつせんはらもお楽しみに!!

地域医療連携室 板橋

〒989-2202

亘理郡山元町高瀬字合戦原100番地

TEL(0223)37-1131(代表)

<http://miyagi.hosp.go.jp/>

【発行・編集】

独立行政法人国立病院機構宮城病院
地域医療連携室

